



WEBサイトを見て

ちょう せん

クイズに挑戦！

楽しく学ぶ、考古学

## vol.68 調べてみよう～「食（しょく）」①

1

暖（あたた）かくなった縄文時代（じょうもんじだい）には、定住（ていじゅう）生活（せいかつ）がはじまります。そこで、食料（しょくりょう）を保存（ほぞん）したりするためのあるものが登場（とうじょう）します。いったいどんなものですか？

- ①縦横穴（たてよこあな）
- ②貯蔵穴（ちよぞうけつ）
- ③貝塚（かいづか）

2

弥生時代（やよいじだい）になると、朝鮮半島（ちょうせんはんとう）から日本列島（れつとう）にも新しい食文化（しょくぶんか）が伝わり、西日本を中心にひろまってゆきます。それは、いまの日本でも主食（しゅしょく）となっています。さて、どんな食べ物かな？

- ①パン
- ②コメ
- ③ソバ

3

石川県（いしかわけん）の杉谷チャノバタケ遺跡（すぎたにちやのばたけいせき）からは、2,000年前のたて穴建物の中から、日本列島（れつとう）で最古（さいこ）のあるものが2つ見つかりました。さて、何がみつかったのかな？

- ①シャケの切り身
- ②おにぎり
- ③鳥のから揚げ